

令和5年度花巻駅及び駅周辺の景観に関する有識者会議 会議録

1. 開催日時

令和6年1月23日（火）午後2時00分～午後3時20分

2. 開催場所

花巻市役所本庁舎 3階 302・303会議室

3. 出席者

■委員出席者：8名

岩手県立大学総合政策学部教授 倉原 宗孝

岩手県県南広域振興局土木部花巻土木センター建築指導課長 佐々木 加奈枝

花巻商工会議所地域開発委員会委員長 木村 清且

一般社団法人岩手県建築士会花巻支部長 佐々木 繁樹

花巻温泉郷観光推進協議会副会長 清水 隆太郎

岩手県交通株式会社花巻営業所長 高橋 正彦

花巻市芸術協会 事務局長 平藤 高雄

社会福祉法人光林会就労支援センタールンビニー所長 高橋 盛一

■委員欠席者：1名

花巻地区タクシー業協同組合理事長 立花 徳久

■オブザーバー出席者：1名

国土交通省東北地方整備局建政部都市・住宅整備課長 大泉 隆是

■事務局：4名

建設部長 板垣 浩美

建設部都市政策・都市機能整備担当部長兼都市機能整備室長 佐々木 賢二

建設部都市機能整備室次長 高橋 和司

建設部都市機能整備室主任 小原 紘

4. 傍聴者

一般傍聴者なし、報道機関なし

5. 次第

- (1) 開会（高橋次長）
- (2) あいさつ（倉原宗孝座長）
- (3) 協議
 - 1) 花巻駅橋上駅舎・東西自由通路のデザイン案について（説明：高橋次長）
- (4) その他
 - 1) 今後の予定について（説明：高橋次長）
- (5) 閉会

6. 会議録

【都市機能整備室高橋次長】定刻前ではございますが、皆さんお揃いですので、会議を始めさせていただいてよろしいでしょうか。ありがとうございます。

それでは、令和5年度花巻駅及び駅周辺の景観に関する有識者会議を開催をさせていただきたいと思います。

開会に先立ちまして皆様にお願いがございます。本日、議事録の作成を目的とした議事録作成支援システムというものを用いてございます。ご発言の際はマイクをお運びいたしますので、マイクをご使用いただきますようお願いいたします。

それでは、最初に、前回の会議が今年の3月28日で行ったので、そこから間が空いておりますことと、今回初めてご出席いただいた委員もいらっしゃいますので、委員の皆様を改めてご紹介させていただきたいと思います。

まずは、岩手県立大学総合政策学部教授の倉原宗孝様でございます。倉原様には本会議の座長もお願いしております。続きまして岩手県南広域振興局土木部花巻土木センター建築指導課長、佐々木加奈枝様でございます。続きまして、花巻商工会議所、地域開発委員会委員長、木村清且様でございます。一般社団法人岩手県建築士会花巻支部支部長、佐々木繁樹様でございます。花巻温泉郷観光推進協議会副会長、清水隆太郎様でございます。続きまして、岩手県交通株式会社花巻営業所長、高橋正彦様でございます。花巻市芸術協会事務局長、平藤高雄様でございます。社会福祉法人光林会就労支援センタールンビニー所長、高橋盛一様でございます。また、本日、オブザーバーといたしまして国土交通省東北地方整備局建政部都市・住宅整備課長の大泉隆是様でございます。委員のうち、花巻地区タクシー業協同組合理事長の立花徳久様につきましては、本日欠席とのご連絡をいただいております。

ここで事務局側の職員の紹介をさせていただきます。建設部長の板垣でございます。建設部都市政策・都市機能整備担当部長兼都市機能整備室長の佐々木でございます。都市機能整備室主任の小原でございます。私、進行などを担当いたします都市機能整備室の次長の高橋と申します。どうぞよろしくお願いいたします。

それでは次第の2挨拶でございますけれども、倉原座長お願いいたします。

【倉原宗孝座長】改めまして倉原です。よろしくお願いいたします。挨拶というよりも感想ですけど、皆様と同じだと思いますけれど、あれから1年ぐらい経ちまして、期待しながら待たせていただき、今日初めて見させていただきました。おそらく皆様それぞれの評価、あるいは好き嫌いも含めていろいろ思いもあると思いますが、良い案を選べたらなと思います。もしかしたらこの場でも若干ご意見とか修正、何かプラスになる部分もあるのかなと思います。一方、お金の問題、技術的なこと、制度的なこと、どこかで折り合いをつけなければならないのかなとも思います。さらに個人的な感想ですけど、あくまでも駅舎は駅利用者のための施設なんですけど、駅イコール花巻の顔でもありますし、単体としての駅を考えたり、同時に花巻全体のことも見据えたそんなアドバイスとかご意見ありましたら、どうぞよろしくお願いいたします。

【都市機能整備室高橋次長】ありがとうございました。それでは会議を進めさせていただきます。有識者会議の設置要綱第6条におきまして会議の議長を座長が務めることとされておりますので、次第の3の協議につきましては倉原座長に議長をお願いいたします。

【倉原宗孝座長】はい、それでは次第に従いまして進行させていただきます。3の協議の(1)JR花巻駅橋上駅舎・東西自由通路のデザイン案についてということで、説明は事務局からでよろしいでしょうか。はい、お願いします。

【都市機能整備室高橋次長】はい、それでは私の方から説明させていただきます。お手元の資料のNo.1をご覧くださいと思います。あとこちらのスライドの方もご用意しておりますので、どちらを見ていただいて結構でございます。よろしくお願いいたします。

最初にデザイン案についてご説明をさせていただきます。花巻駅橋上化・東西自由通路整備につきましては、現在基本設計を進めている状況でございます。その基本設計の中で駅舎および東西自由通路のデザインを検討しておりますけれども、JR東日本からは基本設計に入る前にデザイン検討の材料となるデザインコンセプトを提示すれば、その内容について考慮するとのお話をいただいていたところでございます。そこで、まずデザインのコンセプトの検討を行ったということでございます。前回の会議

の際にデザインコンセプトについては委員の皆さんからご意見を頂戴したところでございますけれども、現在の状況といたしましては、JRから提示されたデザイン案に対して、ワークショップのご意見を12月9日に伺っております。さらに地域説明会も開催をしてございますけれども、その意見を合わせて、本日、有識者会議の中で更に委員の皆さんからご意見をいただきたいと考えているところでございます。

スライドの3ですが、ここからはJRから提出された資料でございます。ちょっと字が小さいですけれども、左側がワークショップまた有識者会議の委員からいただいたご意見が記載されてございます。そして、共通項などをJRで整理したものが右側でございます。

続いてスライドの4でございますけれども、更にJR側でも花巻市の特色などについて調査をしてこのようにまとめているという部分でございます。そして、今回、駅舎のデザイン案を考えるにあたって、JRが設定したコンセプトとしましては、一番下、「思いをつなぐイーハトーブ花巻」というものをJR側で一つのコンセプトとして設定しております。

続いてデザインの説明に入らせていただきたいと思います。スライドの5でございますが、まず、デザイン案Aでございます。こちらデザインコンセプトといたしましては「過去と現在にふれる駅」となっております。たくさんのお出会いと思い出、旅立ちの場となってきた駅について、歴史や文化を感じさせるレトロな雰囲気ということで設定しているということでございます。まず外観でございますけれども、宮沢賢治が過ごした大正時代の建築を思い浮かばせるレンガ調の壁となっております。また外装につきましては重厚感あるシンプルな形態とし白色と茶色を基調としてまとめてございます。内観につきましては、暖色系の内装と照明に統一しまして、天井材に木を活用することで温かみのある空間としているということでございます。自由通路には鹿踊りの帯をイメージしたステンドグラスを配置しております。少し見づらいですが、こちらのスライドを見ていただきますと、内観の床に光が当たっている部分あるんですが、こちらの光の模様が鹿踊りの帯の模様となっております。帯の青色と空の青色を重ね、白い模様が浮かびあがるデザインとしているということでございます。改札の正面には大開口の大きな窓を設けまして、子供でも景色を楽しめる空間を設けているということでございます。

続きまして、デザイン案Bでございます。B案のコンセプトでございますけれども「人と人を結ぶ駅」となっております。花巻を代表する宮沢賢治が、交流の拠点としていた私塾「羅須地人協会」をモチーフに、内観はナチュラルにまとめたと同

ております。外観につきましては、羅須地人協会の屋根の傾斜を要素として取り入れつつ、花巻の風景に馴染むよう大地と空をつなぐ一つの勾配屋根をメインとしたとのことでございます。右側の駅舎の窓につきましては羅須地人協会の2階の窓を思わせるような窓枠とされております。外装色は黒色に統一しシンプルにまとめてございます。内観につきましては、本棚や木の壁を中心とし、木の温もりがあふれる自然な空間としているとのことでございます。本棚から宮沢賢治の作品や文学にふれる場を設けて様々な世代が楽しめる空間としているとのことでございます。またハイサイドライトと柔らかい膜天井により、自然光を取り入れる計画となっております。このハイサイドライトですが、ちょっとスライドの方を見ていただきますと、自由通路の上側の高い位置に窓があります。それが通路の東から西側まで通っている状況です。少し見えづらいですが、それが配置されるようで、それによって自然光を取り入れるということでございます。

続きまして、デザインのC案でございます。C案のコンセプトでございますけれども、「未来へと歩む駅」とのことでございます。学生が多く利用する駅ということやメジャーリーグで活躍する選手を輩出した土地ということから、若者が未来へ歩いていくことをイメージして近代的でスタイリッシュなデザインとしたということでございます。連続した窓が思いを繋いでいくことを表現していると伺っております。外観でございますけれども、駅前広場のモニュメント「風の鳴る林」との調和を考慮し、グレー系の色でスタイリッシュにまとめたとのことでございます。夜は窓から映る人々の影が人々の歩みを表現し、宮沢賢治が歩むシルエットを彷彿とさせるデザインとしていると伺っております。内観につきましては、木や素材そのものを活かす内装仕上げでシンプルにまとめ、自然光により温かみのある空間としているとのことでございます。また、JRからはA案C案ともにパース絵図では表現出来ておりませんが、天井の木材の間隔を狭めてより温かみある空間にする予定と伺っております。窓を線路面まで建物全体で繋げていくことにより、様々な景色を楽しめるようにしているとのことでございます。窓から見える街の景色の移り変わりを楽しんでいただき、街とともに歩んでいただきたいというイメージとのことでございます。

以上、3案となっております。なお、デザイン案でございますけれども、今後さらに検討を進め、変更の可能性があることをご了承いただきたいと思っております。

最後のスライドの8でございます。今後のデザイン選定の手順でございますが、まずデザインコンセプトを検討していただいたワークショップメンバーに意見を12月9日に意見を伺っております。そして地域意見交換会を開催いたしまして、市民の皆

さんの意見を伺い、さらにその件につきまして本日、有識者会議の中でも委員の皆様にご意見をいただきまして、これらの意見を参考にデザインを決定したいと考えてございます。

続きまして、お手元の資料ナンバー2をご覧いただきたいと思います。ワークショップと地域意見交換会を開催をさせていただいたところですが、その結果についてお知らせさせていただきたいと思います。

12月9日にワークショップのメンバーに、意見を伺ったところございまして、皆さんの意見といたしましてはB案が良いという方が14名で一番多いという状況でございました。A案とC案が良いという方は2名ずつでございます。A案とB案、B案とC案というふうに、複数回答された方が3名おりますので合計は合いませんが、B案が良いという方が多かったというところでございます。

もっと良くなる工夫やアイデアについての意見につきましては、次のページからも記載してございますけれども、「時計が欲しい」とか、「ステンドグラスの設置をしてほしい」、「アート展示などした方がよい」、「花や緑を取り入れたらどうか」という意見もあったところでございます。

次に下段の地域意見交換会でございますけれども、昨年の12月21日から先日の1月21日の日曜日まで開催させていただきましたけれども、参加される方が非常に少ないというところでございます。その辺はちょっと残念だったですけれども、来られた方の意見といたしましては、A案が良いと思う方が3名、B案が良いという方が7名、C案が良いという方が3名という状況でございました。いただいた意見といたしましては「改札の上の壁の部分にプロジェクションマッピングなどをしたらどうか」という意見であったり、「賢治作品にふれる空間にしてほしい」という意見、あとは「電車を待ったり本を読んでくつろぐためのベンチや椅子が欲しい」、「デザインはC案が良いと思うが内観はB案が良いと思う」という意見、逆に「外観はB案が良く、内観はC案が窓が多くて明るい印象」という意見もございました。あとは「作品を飾るスペースがあるといい」とか、夜の見え方を考えるとB案も良いという意見もございました。あとB案の駅舎側の色がもっと明るく特徴的な色にした方がいいんじゃないかという意見が出たところでございます。

次のページからはワークショップの中で出た意見ということですが、ちょっとかいつまんでご紹介させていきたいと思います。1班から4班までございますけれども、共通してあった意見として多かったのがステンドグラスであったり時計をつけてほしいといった意見が多かったというところでございます。あとは、デザインそのものと

いうよりはその使い方等の意見が多くなっていたところでございますけれども、アート作品でありますとかシンボリックなものや、壁画などを飾ったらどうかと、そういったものが多くなっていたというところでございます。説明については以上でございます。

【倉原宗孝座長】はい、ありがとうございます。三つのデザイン案とともに地域意見交換会の様子を教えていただいたと思います。それらも踏まえつつ皆様から自由にご意見等いただければと思います。

【都市機能整備室高橋次長】どの案が良いというような簡単な感想でも結構でございますのでどうぞよろしく願いいたします。

【清水隆太郎委員】はい、清水と申します。デザイン案は三つありますけれども、さきほど、この会議で最終的に意見をいろいろ聞いた上でデザインを決めるということでしたが、最終的に多数決で決めるということなのかその辺がよく分からないのでお伺いしたいということと、そもそもの全体的な今後の予定みたいなのがよくわからなくて、このデザイン案を決めて、その後設計に入っていく頃工事するのだとか、あと費用面はどうなのかとか、建物はこういった内訳といいますか平面図的なものとかをまた拝見する場があるのかとか、その辺お伺いできればと思います。

【都市機能整備室高橋次長】まずデザインの決定につきましては、本日はご意見を頂戴するといった部分でございますので、最終的なデザイン決定につきましては、今までいただいた意見を基に市側で判断して決定したいと思います。もちろんJR側とも協議しながら「この意見を取り入れる」等のそういった部分もございますので、JRと協議して市側で決定するというようにしております。決定の時期でございますけれども基本設計の完了が今年の7月になってございます。その7月に完了するためには2月中にはデザインを決める必要がございますので、来月中にはデザインを決めたいと考えているというところでございます。あとスケジュールと平面図ということでございますけれども、ちょっと前回の資料をちょっとスライドの方に出させていただきますと思います。まず平面図でございますけれども、昨年度の調査結果時点のものということになります。左側が2階、右側は1階の平面図となっております。まず2階ですが、東西を結ぶ自由通路が図上の緑色の部分でございますけれども、自由通路を設けましてそれに接する形で駅舎を設けるという形になっております。ですので、自由通路から駅を利用する方は、例えば西口ですと西口の階段を上っていただいて、駅の改札口が通路の東西の真ん中にごございますので、真ん中の改札から駅に入って電車を使っただくということになります。続いて、右側が1階の平面図でござ

いますけれども、青色の部分につきましては、こちらはJR側で設置するコンビニ等の店舗になってございます。赤色の部分は駅事務室、駅側の施設ということになってございます。また黄色の部分でございますけれどもこちらは公衆トイレになっておりまして、東西にそれぞれ公衆トイレを設けることになってございます。ただ、こちらの平面図も今の基本設計で変わる可能性がありまして、まだそれはまだお出しできないので、これまでの調査結果時点のものを出させていただいているという状況でございます。スケジュールでございますけれども、現在基本設計を進めております。基本設計の完了時期が当初より若干押しておりますけれども、スケジュールについては予定どおり進められているというふうに考えております。来年の半ば以降から実施設計に入りまして、実施設計は1年以上かかりますので、令和7年度まで少しかかると思います。そして、令和8年度から実際の工事に入るという想定をしておりますけれども、もしかしたら実施設計が少し早く終わって令和7年度末あたりから工事に入れる可能性もあります。完成と供用開始でございますが令和10年度の後半を想定しているという状況でございます。事業費でございますけれども、この事業費につきましては令和4年6月に提出された調査結果でございます。その調査の段階では橋上駅の概算整備費として約35.9億円ということになってございます。事業費には国の補助を活用させていただきまして、残りの市の負担分につきましては合併特例債を活用させていただき想定でございます。合併特例債につきましては借金にはなるのですけれども、返済額の7割が交付税措置として後年度に交付されますので、市の実質的な負担につきましては約6億円程度と考えているという状況でございます。

【清水隆太郎委員】またこういった平面プランとか駐車場の部分とかバスとかタクシーとか、その辺含めて、どこかで進捗に合わせて共有いただけるというふうに思っております。ありがとうございました。

【都市機能整備室高橋次長】清水委員がおっしゃったのは、西口駅前広場も含めてのお話かと思えます。最後に今後の予定のところでお話させていただこうと思っていたのですが、西口駅前広場の整備も考えておりまして、来年度、西口駅前広場の具体的な整備どうするかを検討する基本設計に入らせていただきたいと思いますと思っております。よろしく申し上げます。

【平藤高雄委員】平藤と申します。景観と関わらない部分ですが、今の平面図をちょっと出していただきたいと思うんですが、JR側の施設と市の施設の両方ある建物になるわけですが、維持管理等はどの様に行われるものかというところが分かれば教えてほしいと思えます。JRと花巻市がどんな仕分けで維持管理を行うの

かというところを教えてくださいと思います。もう一つですけれども、今回3案出てきているのですけれども、今まで駅に対する市民の要望というか、希望等いろいろ出されてきたと思うんですが、3案とも概ねそういう点は整理されていると市の方ではお考えなのか、そこら辺のお考えをお聞きできればと思います。それから今の駅舎の中に観光協会の観光案内所が入っていますけれども、今JRから借りている状況かと思いますが、今後どのようになるのかという部分も私とすれば少し気になる部分なので、分かれば教えて欲しいと思います。お願いします。

【都市機能整備室高橋次長】はい。まず維持管理でございますけれども、緑色の部分が市の自由通路となりまして、赤い部分がいわゆる駅舎でJR施設となります。ですので、自由通路とトイレを含めた緑色の自由通路の部分につきましては市側で維持管理をするということになります。ただ、赤い方のJRの駅舎につきましては、JR側の財産になりますので、JR側で維持管理を行うということになります。あとデザイン案についての市民の意見についてですが、今回の案の中で概ね反映されているのかという部分でございますけれども、もちろん全ての意見を反映されているということではないと理解してございます。もちろん出来るものと出来ないものも当然ございます。ただその中でJRとしてもレトロでありますとか和風的なデザインや木材を利用した部分とか、JRの中でも検討していただいて今回の案が出てきたものと理解をしているという状況でございます。あと観光案内所でございますけれども、JRと観光協会との契約のなかで現在借りているというところでございますけれども、市の観光課の方でも現在検討をしているという状況でございます。自由通路整備のスケジュールも観光課と共有をさせていただいております。そういうところが切れないように観光サイドでも今検討を行っているところでございます。

【平藤高雄委員】景観等の要望等はもちろんその通りですけれども、機能面でこんな駅舎あるいは通路であればいいなというような色々な要望や希望が出されたと思うんですけれどもそういう機能面ではある程度今回の3案で整理しようというふうに市の方では考えているのかという部分です。すいません。

【都市機能整備室高橋次長】すいません。機能でございますけれどもデザインの検討をする際のその前提といたしまして、事業費削減の経過も踏まえまして、施設の配置変更とかですね、そういったお金がかかるものは出来ませんよということを前提として検討いただいた部分ではございます。その中で例えば通路のところに椅子を置いてほしいとかそういった部分につきましては今後の中で検討していけるのかなと思ってるところでございます。施設そのものを変えるとかですね、そういった部分是对応

出来ないというところですので、ご理解いただいた上で検討していただいたものと考えております。

【佐々木都市政策・都市機能整備担当部長】補足ですけれども、例えば西口の出口の部分に人が溜まれるようなちょっとした屋根が欲しいとかという話があるんですけども、前回お示ししたパース絵図では見えなかったんですが、今回の計画の中では外の方にちょっと屋根をつけてですね、雨とか雪を避けるようなものをつけるということでお示ししたいと。屋根が欲しいというのは市民の方からの要望でしたのでそれを反映した形で考えております。

【平藤高雄委員】はい、説明ありがとうございました。

【木村清且委員】木村と申します。商工会議所の地域開発委員会から参りました。この花巻駅のイメージですが、まず東北本線が開業して宮沢賢治さんが東京駅に行った時代に今の3階建の東京駅を見ているわけですね。前の年にはトシさんが。具体的にはですね、盛岡出身の葛西萬司という建築家が今年で確か生誕160年ですけれども、岩手銀行の中ノ橋支店を設計しているんですね。それはレンガでして、レンガ石積造ですね。しかも花巻にレンガ工場がイギリス海岸のところにありましたので。A案をみると近代的な四角い建物ということと、それから大きな吹き抜け、これはおそらく3案とも同じ平面図ですから、ただ左側の大きな空間の吹き抜けになっているところ、B案、C案はそれが低く抑えられていて、建築面積的にいうとA案の方がコスト高くなるのかなと思っているんですけども、かつて花巻の産業の先進でありましたレンガ工場、それから近代建築のちょうど入口のところにありまして、時代が石積造ですから、意匠的にもう一工夫して、その時の歴史的な産業に結びつけて、しかも地元のそういう色々な素材を利用すれば花巻の地元にもお金が入りますので、そういうふうを考えています。特に東京駅の場合は、宮城県登米市からのスレート瓦を使用しております、そのような工夫や地域の産業と歴史を含めたようなものを位置づけにすれば、またレンガ造のデザインの工夫をすれば、そういうことができると思います。あとレンガ調のタイルというものも良くありますが、私らが若いときにその辺の建物をいっぱい設計して作ったんですけども、ほとんど張替えになっている。レンガ調タイルは非常に剥離が激しいものですから、県の博物館もそうですけども打ち込みのタイルにしても剥げるんですね。ですからその辺の工夫が必要かなと。それからもう一つはここは軽便鉄道の出発点だったんですけども、確か宮沢賢治さんが亡くなる前の年だったかに、草野心平さんが賢治さんを訪ねているんですね。そのとき時間を調整する際に花巻駅の精養軒の支店に寄りまして、精養軒は非常にハイカラな建物で本

店は上町にありましたけれども、もう今は解体してありませんが、僕が知ってる限りでは、大谷石の石造です。花巻市内にもありまして市役所の新館の前の分館も石造です。笹間の農協の倉庫もそういった石を使ったものがありまして、そういったようなものをちょっとその吹き抜けになっているところに、精養軒の支店みたいなイメージで先ほどの市民の皆さんが集う場所を吹き抜けのところに持ってきて、それはそういうイメージでやったらどうかと思います。3案ともそれぞれに特色はありますがけれども、これは予算に関わることですから、全部をそうしろということではありませんけれども、そういう建築の歴史と素材を今までの利用されてきた流れも汲みながら、そういう部分的なデザインにも深みを出した方がいいのかなと思います。特にレンガの場合はレンガの厚さを出すためにわざわざ目を凹ませたんですね。それとあと窓の隈取のところに石でもってそういうデザインをする。非常にやり込むと面白い建物になるというような感じがして、そういう工夫ができるのはA案だろうと思っております。C案はもう完全に経済設計でコストダウンという方向で進めておりますけれども、基本設計ももう一度そういったところを踏まえてデザインされたいかなと思います。商工会議所でも様々な業界の皆さんそういうその地元で入手できるような素材、なければ県内あるいは周辺のところから来たもので、そういう宮沢賢治や花巻をイメージする駅舎でありますから、そうできないかと思っております。ちょっと長くなりましたけれども、そんな感じで聞いております。以上です。

【倉原宗孝座長】具体的に何がっていうところまでこの段階で聞いた方がいいでしょうか。

【都市機能整備高橋次長】委員の皆さんに直感的にどの案が良いのかなというところをまずお聞きしたいなとは思っていたところではございます。あとは、その中でここをこうした方がいいなという部分がもしあるのであればお聞きしたいと思っております。また、地域の説明の中では色に対してのご意見もありましたが、ただ色というのは見る人によって主観的な部分がちょっと出てしまうのかなという部分もありましたので、もし皆さんの中で何か知見があればそういった色についてもご意見を伺えればなと思っていましたところではございます。

【倉原宗孝座長】直感的な感想で構わないので。当然、他の方のご意見を聞いていたら変わったということでも良いと思いますし、簡単に感想ということをお願いしたいと思います。とりあえず木村さんとしては、押しはA案でよろしいですか。

【木村清且委員】そうですね。もう少し工夫をしていただいて。

【倉原宗孝座長】ただそれで満足しているわけじゃないよ、まだまだ余地があるよということですよ。

【木村清且委員】まだ何か視覚的につまらないので。

【倉原宗孝座長】その辺も疑問点あるいは要望も含めて、感想を一言ずつぐらい。佐々木さんから良いですか。

【佐々木加奈枝委員】私はまず外観のデザインを見ますと今の駅舎の雰囲気から勾配屋根がいいかなと思って見まして、ぱっと見の形から見ますとB案がいいなと私は見させていただきました。内装の雰囲気につきましても、ワークショップ等の意見や皆さんから多くの意見が出たところで木を使っている温もり溢れるというところで優しい雰囲気があっていいなとは思いますが、レトロな雰囲気という点ではレンガを一部どこか内装に使ったりですとか、あとはスタンドグラスというのは非常にたくさんの方から意見が出ているようですので、スタンドグラスを設置するですとか、あとは花巻らしさでは、宮沢賢治の例えばシルエットのような何かを設置してみたりというような部分は、見させていただいたなかで、私は工夫する部分の意見として思いました。

【倉原宗孝委員】木村さんからは先ほど意見をいただきましたので、佐々木委員お願いします。

【佐々木繁樹委員】建築士会の佐々木です。個人的には先ほどの佐々木課長と同じで、勾配屋根がいいかなと思って見ていました。課長と同じで、今の駅の大屋根の切妻のあの雰囲気が若干残っている感じもありますので、羅須地人協会を元にデザインしましたと書いていましたが、形はB案の屋根の姿形がいいかなと思いました。これに本当に賢治らしさというところをもうちょっとデザインに入れてもらえればいいのかと。さっき木村さんが言っていたレンガとかも外壁に貼ったり、工夫があればいいのかと思います。12月のワークショップには参加できなかったんですが、昨年のワークショップに私参加しておりまして、やっぱり賢治の色とかレトロ調とかスタンドグラスとかという意見がいっぱいありましたのでその辺をB案にもうちょっとその辺の意見を取り入れてもらえればいいのかと思っております。以上です。

【倉原宗孝座長】はい。ありがとうございます。そのまま次よろしいでしょうか。

【清水隆太郎委員】はい、清水と申します。どのデザインがいいかというところではありますが、今まで発表された皆さんの話を聞くと、最終的にはB案で、A案のレンガの部分とかの良さをブラッシュアップしていく形でいいんじゃないかなと思います。

【高橋正彦委員】岩手県交通の高橋でございます。私バスの方をやっていますので、バスから降りて見てここが駅という印象がぱっと分かるのが一番いいなと思って、なんかA案もいいかなと思うんだけど、A案は真四角な感じがして、なんかもう少しちょっと変えればもっといいかなという感じがします。それで、B案のこの屋根の形とかですね、雰囲気からいってB案の方がいいかなと。C案に行くとこれなんか経済的に安くしたのかなというような感じに見られる気がするので、やっぱり私としてはB案かなと。ただし、年取った人からするとA案の方がいいのかなと思うんですが。どれとも取れないような感じですけども、個人的にはB案がいいかなという感じでございます。

【倉原宗孝委員】ちなみにC案はやっぱり安く感じますか。

【高橋正彦委員】そうですね。これ矢幅駅に似ていますよね。

【平藤高雄委員】花巻市芸術協会の平藤です。やっぱり私がぱっと見、やっぱりこれかなと思ったのはB案です。今の駅舎の屋根というところが少し残っているが状況が少しあるかなと思いますし、この三つの中ではやっぱり個性がある建物じゃないかなとそんなふうに見ています。また駅東側は全面ガラスのようですよね。柱があるような雰囲気ですが、全部白っぽいところはガラスなのかなと思いますが、やっぱりこのくらいのガラス面があるというのは、管理とか、すぐ管理の話をしちゃいますけどもそういう部分とか後々どうなんだろうと。ただ、それを生かせるような工夫があるとすれば更に個性として光っていくのかなとそんなふうに思いました。以上です。

【倉原宗孝座長】ありがとうございます。

【高橋盛一委員】はい光林会の高橋です。私は建築が全くわからないので、本当に素人的なお話になってしまうんですが、レンガ調の建物はすごく個人的には好きで、レンガはいいなと思ったんですけど、そのインパクトの部分ではB案というふうに感じました。これはあくまでもデザインの話なので、これ以上踏み込む内容ではないのかもしれませんが、例えばいただいた資料の中に、B案で中に本棚があったり、というところがあるんですが、改札口の近くに本棚って利用されるのかなとか、確かに資料2の方にベンチがあったり、本を読んでくつろぐためのという部分を書いているんですけど、実際こういった場所ではなくて、待合室がどの程度の大きさになるかにもよるんでしょうけれど、実際にくつろぐことを考えるのであればそういった場所への設置も必要と思います。あとは毎日か日々使う方にしてみると、すごく気になるのがトイレだったり、あと段差だったりではないかと。例えばトイレのドアが自動ドアだったらいいなと思います。本当に日々使う方は、どう捉えるかなというふうに感

じました。感染症であったり、やっぱり触れるところが少ない方が利用客としてみる
といいのかとか。ちょっとデザインとは変わるんですけど、そういったところにも
注力していただけるといいのかと感じます。以上です。

【東北地方整備局 大泉隆是都市・住宅整備課長（オブザーバー）】はい、オブザー
バーの大泉でございます。まず前提条件なんですけども、この三つのパースで比較さ
れてしまっているんですけども、駅のバス停のところとかに屋根とかは付けないと
いうことでよろしいでしょうか。

【都市機能整備室高橋次長】それは西口の話ですね。西口につきましてはバス停のバ
ス待合に屋根をつけるつもりでおります。西口駅前広場については、現時点ではどう
いった具体的な整備をするかという部分はまだ構想の段階という状況になりますので、
西口にもバス待合に屋根をつけるということで考えております。

【東北地方整備局 大泉隆是都市・住宅整備課長（オブザーバー）】そうするとデザ
インの話に戻りますが、「花巻駅」と地面に近いところに表示されているB案とかA
案というところは、駅の名称が見え辛くなってしまうのかなと思っていました。デザ
インについての意見を申しますと、皆さんもおっしゃったように、レンガ造り、多分
外壁はタイルになってしまうと思うので、要は内装の触れる部分はレンガ造りがいい
のかなと思っていました。窓は、よく子供たちが電車が来るのを見ているところもあ
るので、線路の上はみんな窓がいいのかなと思って、C案に近いものもいいのかなと
も思っているところでした。全体のイメージでいうと、B案も斬新な形でいいのかな
と。どれもみんないい部分があるのかなというふうに思っているところでございま
す。以上です。

【倉原宗孝座長】仮に、あえて一つ選ぶとすると、C案ですか。

【東北地方整備局 大泉隆是都市・住宅整備課長（オブザーバー）】私はC案の色を
もうちょっと変えていただければいいのかなと思っていましたけれど。

【倉原宗孝座長】形としてはC案ということですね。ありがとうございます。ちなみ
に僕自身の意見ですけども、多分に個人的な意見です。ぱっと見で、B案かなと思
いました。ただ、コンセプトの説明があつて初めて分かったんですけども、B案を
見て「ああ羅須地人協会だ」って花巻市民はみんな思うんですかね。ちょっとその辺
は説明を聞いてそうなんだと思いながらだったんですけど、まあ個人的にはB案な
んですけども、一方地域からもご意見あつた時計が欲しいとか、ステンドグラス、
ベンチそういうものは取り入れられるもので、しかも変にならなければ、極力小さな
工夫というか、神は細部に宿るといいますけれども、そういう小さな工夫というのは

どンドンA案、C案のところも取り入れて欲しいなと思ったところです。それとA案なんですけれども、これ何かこのままで重いというか、この右側の写真の方が横のラインが入っているから、その辺の工夫があるとちょっと違うイメージになると思うし、地域から時計が欲しいとかありましたけど、時計一つ置くだけでもイメージ変わるだろうし、本当にまだ工夫の余地があるんじゃないかなと。このままで重いなという印象がありました。それで今お話があった「花巻駅」という表示ですが、あえて最近はこの置くのが流行なのか、その辺のもしルールとか流行があるのであればそのままでもいいんですけれども、分かった方がいいだろうなと僕自身も思ったところです。個人的にはB案なんですけれども、ただ、先ほどのメンテナンスの維持管理のお話があったんですけれども、これ実際に建築現場でやってらっしゃる方に聞いた方がいいと思うんですけど、例えば10年20年後のメンテナンスの面で、結構変に施工とか拘っちゃうとやりづらくなって、だから誰がやるというよりも単純にお金自体のことを考えたときに、もしかしたら単純な方がいいのか、その辺も検討の余地があるかと思ったところです。さらに言えばA案、B案と違って唯一C案が開放的だなと思うのと、とりわけ下の写真の左側がC案だけ外が開放的であつA案とB案はどっちかという閉じたような感じで、AとBが閉じているだけに色々な光の工夫がされたと思うんですけども、その辺の開放的という良いことが逆にその周りの景観を楽しめるほどの景観として周りが耐えうる景色だったかどうかだろうなと思ったところです。あそこから綺麗な美しい風景だなと、いろんな角度から見られるような環境整備も当然踏まえてということであれば、C案の開放性もできるかなと思いつつ、上からの風景は分かるんですけど、1階から見てもあの変どうだったかなという疑問があるのと、それと先ほども出ました、単体の建物だけではなく周辺の施設を考えたときに、屋根のシルエットというのはやっぱり意識すべきだなと思ひまして、その辺は今後設計者の方の配慮だと思うんですけども、単体の建物としての完成というよりも周り左右に並ぶような施設ともスカイラインというか、屋根のシルエットとのデザイン整合性、あるいは色というのを考えていただけたらなと思ったところです。そういうところで、一応一通りご意見をいただいたということで、他の方の意見聞いて、それだったらこうだ、やっぱりこうだということで、また色々ご意見をぜひお願いします。

【木村清且委員】このB案は、ちょっと違和感が見えますのは、勾配屋根とフラット屋根のところで、ブツンと切れちゃうんですよね。これは羅須地人協会のイメージだ

と右側の屋根ところを小庇にして全体的に統一されると違和感はなくなるんじゃないかなと。

【倉原宗孝座長】これ（資料1「羅須地人協会の写真の屋根の部分」）を意識しているんじゃないですかね。設計者が。

【木村清且委員】そこら辺でいきなり平なものがありますのでね、違和感があるような気がします。

【倉原宗孝座長】正面から見ると尚更そう感じるかもしれません。

【木村清且委員】ちょっと二つの建物が隣り合っているように見えると思います。あと先ほど言ったように全部をタイルにしろということではなくて、大泉さんお話するように目に見える範囲でいいと思うんですよね。その質感を楽しむみたいな。上の方は、やっぱりレンガタイルは後数十年しますと必ず張替えしますんで、その辺はあとでどのようにするか、テクスチャーの問題ですが。私は今の花巻駅の改築ですけども、僕はよく今の形を活かしてあういうふうに改造したなと感心しているんです。そういった統一感がちょっとB案に欲しいなと思っています。あとやはりC案は下の内観の三つのある絵の左側、こういう空間連続性がとれているのは、C案だというふうに思っております。だからこの辺は橋上でしょうから、空間が続いて楽しめるようなそういったデザインだなと思っております。あとレンガのところで、A案なんですけど、ちょっと先ほど言い忘れたんですけども、東京駅のドームような感じにこの左側の上のところドーム状にしてスレート瓦の板みたいなものをやると、ただこれをやるとお金かかると思うんですよね。こんな感じです。

【倉原宗孝座長】ちなみにB案の右側は、今の駅舎みたいに直すことは空間的に無理なんですかね。羅須地人協会を再現したかったのか。そうも見えないような気もして。

【木村清且委員】羅須地人協会の2階の出窓がガラスのトン付けになっているんですね。そこをパース絵では表現しているんだと思います。

【倉原宗孝座長】冒頭説明を聞いたときに、これを見て羅須地人協会だと地元の人が思うのかどうなのかなと思ひまして。

【平藤高雄委員】やはり、羅須地人協会とこのデザインを結び付けたというのは、賢治さんや花巻を勉強したのかなという気がします。

【倉原宗孝座長】思いがある方からすればそうなんです。そういう意味で設計者の思いに対する評価ですね。

【倉原宗孝座長】デザイン案の基本的なところをこの段階で決めた方がいいんですね。意見を踏まえて事務局さんで判断してもらえるとということでよいですか。

【都市機能整備室高橋次長】そうです。この場で決めるということではなくて、皆さんからいただいた意見をJR側とできる部分できない部分を擦り合わせながら、事務局側で判断するというございます。

【倉原宗孝座長】A案の鹿踊りのシルエットなんかは、他のデザイン案でも活かせるんですよね。

【都市機能整備室高橋次長】はい。B案、C案の窓にもできます。

【倉原宗孝座長】そういうところも検討いただければと思います。何かを決めるということではありませんので、言いたいことを言っていただいて結構ですので、よろしくをお願いします。

【高橋盛一委員】すいません。質問ですけれど、花巻駅をそんなに利用しているわけではないので少し分からないんですけれど、そもそも今回新しくなって売店みたいなものは出来るんですか。

【都市機能整備室高橋次長】はい。1階にはなるのですが、JRで設置するコンビニ等の売店はできる予定になっております。

【高橋盛一委員】それは地元のお土産とかそういったものを売るわけではないですよね。

【都市機能整備室高橋次長】そういうものではないです。これはJR側の販売施設です。

【高橋盛一委員】わかりました。よく大きい駅だったりするとCMとか、そういうものを壁とかに貼っているじゃないですか。ああいうのって、確かに在来線とかそういう駅にはなかったなと思っています。そういった企業であったりそういったところも、要はCMというか広告を載せる必要がなければ、壁面の面積はあまり気にしなくてもいいなと思ったんですけど、そういった広告とかあと公的な例えば花巻祭開催みたいなものをどんどん観光客とか、そういう方々に周知するのであれば、ある程度ガラス面ではなくて壁面が必要になってくるのかなとちょっと思ったので、それで質問しました。すいません、ありがとうございます。

【都市機能整備室高橋次長】広告とかという話であれば、事務局の中でもいろいろ話が出たんですけども、1階の吹き抜けのところに垂れ幕とかも付けられるとか、市民の方から出た意見としてはこういった幕天井だって活用すれば何かできるんじゃないかというお話もありました。本棚とかもありますけれども、こちらはディスプレイ

的に特産物など紹介するものを置いても良いんじゃないかというご意見もあったところですので、そういったアピールの仕方とか見せ方というのは、今後検討していけるのかなと思っております。

【倉原宗孝座長】皆さんにちょっとお伺いしたいんですけども、外部からのパース絵はぱっと見てこれかなと思うんですけども、中と外でちょっと印象が違ような気がしてまして、外に対してはそれぞれご意見があったんですけど、単純に外観で言うとB案が多いんですが、中もB案でいいのかと思っていて、僕は外観としては個人的にはB案ですけど、中はB案がちょっと微妙というか、嫌だなという思いがあって、皆さんはどうなんだろうかとちょっと思ったんですけど。内観についてご意見をいただきたいんですが、どうでしょう。いろいろ飾りがあるのはいいと思うんですけど、何かB案は違うなと思うんですが。

【木村清且委員】最近東京都内のショッピングセンターの中にも7階、8階の建物がオール木材なんですね。CLTとか、柱を横に10本繋げてそれをもって構造材として仕上げて、要するに街に森を作ろうという発想ですね。せっかく賢治さんもいろいろ度十公園林とかですね、様々話が出てきますので、花巻の林業については、確か北上よりも1桁も多い出荷量とかでして、それをただA材、B材、C材に分けて、要するに火力発電のために、細いB材、C材だけでなく、大きなA材まで出しているという。せっかく育っている豊富な森林あるのに全く木造の工法がだいぶ違って鋸とか鉋とかは使わないので、余計に木材を使わない、大きな木、A材が使えない。それをこういう中で自然の木の良さを表現として出来ればいいんですけど、倉原先生がお話されるように木材の面白味はこれには出ていないですね。木をぶら下げただけとか、C案なんかはただ木を横におけばいいんじゃないかという処理ですね。そうではなくて、昨今の建築は中低層の建物がほとんど木造になってきております。ただそういった意味で様々な大手ゼネコンさんでは、自分たちのところの会社で提案した柱や梁の構造で、木を使われているものも最近多いですし、屋根を、網をかけたみたいな非常に面白いデザインがあったりします。せっかくのこの3階近い空間の連続性の中で、そういう木材をメインにした主要構造材ですね、柱や梁などに太い集成材を使いながら、豊かな空間を作るべきかなと、そこがちょっとどの案も提案されていない。それが倉原先生の感じるところではないでしょうかね。先生の代弁というわけではないですが。

【倉原宗孝座長】要は羅須地人協会をしっかりと勉強してB案を生み出したような外観の深さが、中はどれもどこでも見るような形になって、さっきのレンガも一緒なんで

すけども、木にしてもレンガにしてもあるいは石にしても、ちょっと踏み込んでるなというふうなものが欲しいなど。おそらく勉強されている設計者だと思うんで、色々その辺も踏まえて工夫いただければ深みができるんじゃないかと思います。

【平藤高雄委員】今更の話ですけれど、エスカレーターは上りだけで、下りはなくて、そういう人はエレベーターを使いなさいということでしたか。

【都市機能整備室高橋次長】そうですね。エスカレーターは上りだけになります。

【平藤高雄委員】エスカレーターは上りだけね。はい。座長の先生がおっしゃられるようにやっぱりB案で上るエスカレーターを乗りながら、あるいは階段を上がるという部分がありますが、そうした場合、線路側が全く壁になっているというのはちょっと窮屈感があるし、プラットフォームとか、そこにいる人とか、電車が見えるような窓はやっぱりあった方がいいんじゃないかなと、そんなふうに思います。ちょっと窮屈感が出てしまうのかなという思いがあります。あと本棚のところとかは、やっぱり具体的な利用をどうするかという部分に大きく依るところがあると思いますので、限られたスペースの壁面ですけれども、そういう部分、これからの利用ですね、花巻のアピールにどう活用するのかとか、いろんなことが考えられると思いますが、限られたスペースなので、壁面とガラス面の活用を今後検討していくことになるのかなとそんなふうに思った次第です。以上です。

【倉原宗孝座長】なんか皆さんのご意見聞きながら、段々実感というか、イメージ湧きつつ、でもイメージが湧いてくると、これだけの情報じゃちょっと足りないなというか、こっちから見ないと分からないなというところもありますね。もう1回平面プラン見せてもらってもいいですか。

【都市機能整備室高橋次長】はい。

【倉原宗孝座長】デザインのパース絵は、平面図の下側(東)から見ているということですよ。

【都市機能整備室高橋次長】そうです。

【倉原宗孝座長】例えば、下の写真の一番左側の階段を上って、通路部分に行って、自由通路の左側と右側で見た部分がこの2枚の写真ということなんですね。線路は上から見えるわけですね。

【平藤高雄委員】1番線のプラットフォームは屋根と重なるのかな。高さ的に。見えないから壁にしているのかな。でも、C案は壁じゃないですよ。

【都市機能整備室高橋次長】線路側の壁は、A案もB案も窓にも出来ると聞いています。

【平藤高雄委員】1番線のホームの屋根がみすぼらしく見えてしまうね。よけいなこと考えると。庇みたいになっているのかな。

【倉原宗孝座長】どうなっているんでしょうね。

【平藤高雄委員】屋根をとっちゃうとプラットフォームの屋根がない感じになってしまおうしね。

【倉原宗孝座長】屋根ないと不便ですよ。

【平藤高雄委員】待っている人はつらいですね。

【東北地方整備局 大泉隆是都市・住宅整備課長（オブザーバー）】おそらく屋根は工事施工するときに支障になるので、新しいものを付けるんだけど、補助の対象は全部が対象にはならないので、途中までになる可能性はあります。

【倉原宗孝座長】そっちの制約が。

【東北地方整備局 大泉隆是都市・住宅整備課長（オブザーバー）】工事に影響する部分は新しくなるという形です。

【平藤高雄委員】残せるかっていっても残せないですよ。構造上。

【東北地方整備局 大泉隆是都市・住宅整備課長（オブザーバー）】残せないですね。今の階段がある分、新しく階段を作るので屋根を支える支柱とかが必要になるので。

【倉原宗孝座長】みなさんよろしいでしょうか。最終的には事務局でご判断されるようなので、言いたいことは言っていた方がいいと思うので、何かありましたらお願いします。概ね地域からの意見というのはどこかに反映されているということだと思いますよね。

【都市機能整備室高橋次長】機能的な部分はちょっと変更できないんですけども、デザイン的な部分のご意見は出来る部分は概ね反映していただいたのではないかと考えております。

【倉原宗孝座長】個人的な質問ですが、最近の施設管理的には時計とか置くとやぼったいという感じなんですか。僕は便利な気がするんだけど。

【都市機能整備室高橋次長】あった方が便利なのは間違いないんですが、今の花巻駅の時計は一つの管理板で制御しているものだったらしく、その維持管理費と施設更新の際にお金かかるということで、現在は時計を外されてしまっている状態です。ただ今までの駅舎にやっぱり大きな時計のイメージを持っている市民の方が非常に多くお

りますので、そういった部分で、ノスタルジックというか、時計があったらいいんじゃないかなというご意見だったと考えております。

【倉原宗孝座長】いや、自分自身の勉強のためですけども、今時、時計と言うとださいとかそういう感じではないんですね。

【都市機能整備室高橋次長】機能というのはよりは思い出の中の一つというふう捉えています。

【倉原宗孝座長】例えばA案とかも何もないより時計一つあると違うなというものもあったんですけど、なんかそれが逆にデザインというか、どうですか、時計あったら恰好悪いですかね。そういうふうに思いました。大体よろしいでしょうか。ではよろしくをお願いします。

【都市機能整備室高橋次長】倉原座長ありがとうございました。続きまして、次第の4その他でございます。資料はございませんけれども事務局から今後の予定についてご連絡を差し上げたいと思います。

まず本日いただいた意見につきましては、事務局の方でまとめをさせていただいて各委員に確認のご連絡をさせていただきたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。デザインの決定につきましては、今後JRと協議しながらになりますが、来月には決定したいと考えてございます。決定に当たりましては皆さんにご報告させていただきますとともに市の広報、ホームページ等でも周知をさせていただく予定でございます。デザイン決定後ですが、自由通路と駅舎の基本設計は7月完了予定ということで、その後、実施設計に入っていくということになりますけれども、実施設計費の予算につきましては、議会で承認をいただいてからということになりますので、実施設計費の予算を承認いただきましたならば、実際の実施設計の方に取りかかるということにしております。現状といたしましては、当初のスケジュール通り順調に推移しております。令和10年度後半の供用開始を視野にいれて進めているという状況でございます。自由通路と駅舎の整備に合わせまして西口駅前広場の整備も進めていく予定としてございます。西口駅前広場の整備案につきましては令和3年度に駅前広場の現況調査ということで調査をした際に、どのような整備が可能かという調査をさせていただいたところでございます。ですので、あくまで調査の結果というところで構想の段階でございましたので、警察との協議など、より実現可能な検討を行うために令和6年度に西口駅前広場の基本設計を行うこととしております。こちらにつきましても予算の承認を得た場合にはなりますけれども、西口駅前広場の基本設計が実施することとなった場合につきましては、また委員の皆さんからも広場の機能等につきまし

て、ご意見を頂戴したいと考えておりますので、よろしく願いいたします。事務局からは以上でございますけれども、皆様から何かございましたらお願いいたします。

【倉原宗孝座長】今説明あったんですが、これは今日で終わりというわけではなくてまだあったんですね。

【都市機能整備室高橋次長】委員の任期は2年ということでお願いしておりましたので、もう少しお付き合いいただきたいと思いますと思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

【倉原宗孝座長】わかりました。

【清水隆太郎委員】すいません。設計費はどれぐらいかかるのですか。

【都市機能整備室高橋次長】駅舎と自由通路の実施設計でよろしいでしょうか。駅舎と自由通路の実施設計費につきましては大体1億8000万円かかる見込みとなっております。

【倉原宗孝座長】資材が上がるんじゃないですか。

【都市機能整備室高橋次長】設計まではまだいいんですが、もちろん設計の方もちょっと労務費が上がっておりますが、資材の方ですけれども、令和3年度から労務費を含めた全体工事費としては大体20%ほど上がっているようですので、そういった部分も見越しながらの判断にはなると思いますが、基本設計の中でも施設の規模とか、施工方法の検討などで、整備費の圧縮を検討しておりますので、そういった部分を進めていきたいなというところがございます。

他によろしいでしょうか。長時間ご審議いただきまして大変ありがとうございました。以上をもちまして令和5年度花巻駅及び駅周辺の景観に関する有識者会議を閉会させていただきます。本日はありがとうございました。